

# 臨時国会 20日召集

## 首相補正予算提出を明言

岸田文雄首相は29日、秋の臨時国会を来月20日召集とする方針を固め、与野党に伝達した。今月13日の内閣改選後、初の国会論戦が行われる。政府は物価高や賃上げに対応する新たな経済対策を来月決定する。首相は財源を挙げる2023年度補正予算案について「臨時国会に提出したい」と明言した。与野党には年内の衆院解散観測があり、首相判断が懸念となる。

【5面[議院深層]

## 与野党に年内解散観測

首相は、臨時国会で衆院を解散する可能性を記者団から聞かれ、「経済対策をばらまいて」などと答えた。経済対策をばらまいては、内閣改選後も年内に解散観測があると見られる。

課題に一喜半憂取り組む。それ以外のことは今考えていない」と述べた。補正予算案の扱いに関して、「これまでには「適切な時期に国会提出出すや」「速やかに補正予算の編成に入る」などの表現にとどめ、提出時期を示していなかった。

経済対策の指示に当たり、首相は26日「成長の実である税収増を国民に適切に還元すべきだ」と強調した。税や社会保障負担の軽減、各種給付措置が検討されるとの見通しもある。

岸田文雄首相の自民党総裁任期満了まで1年

- 臨時国会召集
- 衆院長崎4区、参院徳島・高知選挙区の補欠選挙
- 経済対策決定
- 衆院議員任期4年の折り返し
- 2023年度補正予算案を提出
- 米国でアジア太平洋経済協力会議（APEC）首脳会議
- 東京で日・東南アジア諸国連合（ASEAN）特別首脳会議
- 24年度予算案と税制改正大綱決定

され

ている。

政府、与党は、召集日の10月20日に首相が所信表明演説に臨み、23～25日に衆参両院本会議で与野党による代議質問を実施、26～31日に衆参が順に予算委員会を開くスケジュールを確認した。野党と調整して正式決定する。補正予算案の提出は11月に入る見通しだ。

一方、野党は「早期解散をめだ」（衆健太立憲民主党代表）と警戒感を強めており、衆院議員は10月末に任期4年間の折り返しを迎える。衆院議員は10月末に任期4年間の折り返しを迎える。

臨時国会では補正予算案や公務員の給与法改正案、今年前半の通常国会で成立しなかった金融2法案などを審議する。

想定される主な政治日程

岸田文雄首相の自民党総裁任期満了まで1年
臨時国会召集
衆院長崎4区、参院徳島・高知選挙区の補欠選挙
経済対策決定
衆院議員任期4年の折り返し
2023年度補正予算案を提出
米国でアジア太平洋経済協力会議（APEC）首脳会議
東京で日・東南アジア諸国連合（ASEAN）特別首脳会議
24年度予算案と税制改正大綱決定

与野党に年内解散観測

首相は29日、自民党の麻生太郎副総裁、茂木敏充幹事長と国会運営について協議し、松野博一官房長官も同席した。

公明党の山口那津男代表とも個別に意見交換。山口氏は会談後、衆院解散時期を巡り「首相が決断したときには対応できるよう準備は進めておきた」と記者団に述べた。

生太郎副総裁、茂木敏充幹事長と国会運営について協議し、松野博一官房長官も同席した。